

平成17年12月12日

各位

会社名 日本カーボン株式会社
代表社名 取締役社長 鳥羽 雄一
(コード番号 5302 東証第一部)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長
増田 忠雄
(TEL. 03 - 3552 - 6111)

新中期経営計画策定のお知らせ

1. はじめに

日本カーボン株式会社は、2003年より事業再構築3カ年計画を進めてまいりました。計画は順調に進み、利益は大幅に改善され、復配も達成するに至っております。そこで本年新たな3カ年を対象に、新中期経営計画「グローイング・プラン - 08」を策定し、更なる企業価値向上と企業市民としての社会的貢献を推し進めることと致しました。

2. 中期経営計画

重点実施項目

各製品の特色、取り組みの重要性、緊急性、事業の収益性、発展性、および次代を担う新規商品開発の必要性から、中期計画の重点実施項目を以下の通りと致しました。

・電極事業の強化と発展

生産工場の設備更新、コスト低減

32" に代表される高品位電極の技術改善と製造

グローバル化するマーケットへの対応

・汎用炭素繊維製品 GF / CCM の事業拡張

2008年売上高 50億円

・リチウムイオン電池負極材高容量品の開発販売、及びハイブリット HEV 用途向け開発と市場参入

高収益品拡販による全社収益への寄与

新規テーマとしての HEV 用途向け LD 負極材開発

以上を重点実施することによる数値計画は次の通りであります。

1) 2008年 売上利益計画

	連 結	単 体
売上高	3 1 0 億円	2 3 0 億円
経常利益	3 3 億円	2 3 億円
経常利益率	1 1 %	1 0 %
為替レート	1 0 0 円 / US \$	1 0 0 円 / US \$

2) 設備投資計画

電極、GF / CCM、LD 研究開発部門を主体に、総額 100 億円。

3) 2008年 主要経営指標

	連 結	単 体
総資本経常利益率	7 %	6 %
自己資本比率	4 4 %	5 4 %
借入金依存率	2 8 %	2 7 %

3. コンプライアンス体制の確立

当社は、今後とも、倫理法令の遵守なくして会社の永続的、安定的発展はおろか存続すらないとの認識のもと、倫理法令遵守の徹底を経営の基本原則とし、中期経営計画とは独立した形でコンプライアンス体制の確立に努めてまいります。

以上